

第2回 臨床文藝医学賞
受賞作：静一郎『急須の中にお茶の椅子』



(静一郎(4)画集より)

講評：急須とはなんだろうかと思った。言われてみれば、確かに急須で、椅子に見える。ただ急須に入っているのはお茶の葉ではなくお茶の椅子である。急須とはなんだろうか。堂々巡りである。私が思い出すのは、ピノキオである。ピノキオを探しに行ったおじいさんは、鯨に飲み込まれ、鯨の体内での生活を強いられる。ただ急須に飲み込まれたのは椅子であり、おじいさんではない。そもそも飲み込まれたかどうかもわからない。急須はお茶をいれるためのものではないし、椅子は座るためのものではない。ただただ急須でただただ椅子で、それもただただお茶の椅子であるのだろう。それぞれが楽しく、安らいでみえる。臨床文藝医学会ブログには静一郎(4)画集の他の作品も掲載しており、『コウモリが飛んでいる』や『ひまわり』なども見ごたえがあり秀逸であると思う。あわせてご覧いただきたい。

臨床文藝医学賞募集要項

自主制作映画、音楽、写真集、詩集、お蔵入りとなっている修士論文、小説・断章等々、売れることを意図せず人知れず書かれ、制作された作品をドキュメントしブログ上に掲載しております。作者の許可があれば作品も同時に掲載しますが、作品の公開を希望されないものについてはもとの作品を鑑賞していなくてもわかるようにメンバーがレビュー（吟味）します。著作権は著作者に帰属します。エントリー・掲載後に掲載の中止を希望される際にはご一報ください。

年に1回、エントリー作品の中で特に面白いものがあれば臨床文藝医学賞を選出します（特典はございません）。

各年度の募集は1月1日～同年12月31日までとします。賞の選出は翌年度の春～夏頃で予定させていただきます。

売れるかどうかにとらわれず、何かをつくり、考えることの喜びを分かち合える場となればと思います。

分野、ジャンルは問いません。応募は氏名（ニックネーム、匿名希望も可）、題名を添えて下記のアドレスまでお願いします。

rinshoubungeigakukai@gmail.com